



しっかり分けてごみの減量化を 正しく分別できているか、もう一度確認をお願いします

市では家庭から出るごみを、可燃ごみ、不燃ごみ、有害ごみ、粗大ごみ、資源物の5種類に分けて収集しています。資源物としてリサイクルできる紙類・布類、ペットボトルや金属類をごみとして捨ててしまっていないか。持続可能な社会の実現のためにも、正しく分別してごみを減らしましょう。この特集のお問い合わせはクリーン推進課 ☎421-6768～6770へ。

家庭ごみの排出量が減少傾向

本市では、2年度をピークに家庭系ごみの量は減少傾向にあり、5年度は4年度に比べて、ごみの排出量は1,284トン減り、4万1,840トンのごみが排出されています。市の人口は増加傾向にあるにも関わらず、家庭系ごみの量は減少傾向にあります。引き続き、ごみの減量へのご協力をお願いします。

ごみの分別を正しくするには

「家庭から出る「資源物」と「ごみ」の分け方・出し方」を活用しましょう。

- ・クリーン推進課、清掃センター、支所・連絡所で冊子「家庭から出る「資源物」と「ごみ」の分け方・出し方」を配布しています。ホームページからも閲覧・ダウンロード可能です
- ・「ごみの分け方・出し方」は外国語版（英語、ポルトガル語、中国語、韓国語、スペイン語、ベトナム語）もダウンロードできます。この冊子の発行はしていません。詳しくは、右のコードから確認してください



▲市ホームページ

- ・市のLINE公式アカウントやホームページでは、家庭から出る資源物・ごみの分別や出し方について検索できます。LINE公式アカウントは、収集日をお知らせする定期配信を受けることも可能です。市公式アカウントの詳細は、右のコードから確認してください



▲市ホームページ

ごみの分別がきちんとされないで困っている事例

- びん・缶・ペットボトルなどにタバコの吸殻などのごみを入れて資源収集用のコンテナや網袋に出さないでください

タバコの吸殻などのごみの入ったびん・缶・ペットボトルなどが見受けられます。このような出し方をされたびんなどは、資源物として回収されず、黄色い警告シールが貼られて

集積場所に残されてしまいます。そして、ごみの入ったびんなどはリサイクルができなくなってしまいます。びん・缶・ペットボトルなどにタバコの吸殻などのごみを入れないようにお願いします。



▲市内で確認された注射針の入ったペットボトル

- 紙類・布類は雨の日に出さないでください
資源物の紙・布類（新聞紙、雑誌類、ダンボール、衣類など）は、濡れてしまうとカビが生え再利用できなくなってしまいます。雨の日は出さないようお願いします。また、衣類は中古衣類としてそのまま再利用されます

ので、洗濯してから出しましょう。なお、ひどく汚れたものは再利用できませんので、可燃ごみとして出してください。

プラスチック類の分別収集

市では、他の可燃ごみと併せて焼却処理をしているプラスチック類を少しでも資源化するため、7年2月に「プラスチック類の分別収集及び再商品化に係る方針」を策定しました。詳しくは、右下のコードから詳細をご確認ください。また、循環型社会の形成を目指すため、3月には「八千代市一般廃棄物処理基本計画（改訂版）」を策定しました。



▲市ホームページ

■家庭から出る「資源物」と「ごみ」の分け方・出し方抜粋

分別区分		主な品目	出し方のルール
資源物	びん類	飲料・食品用（食用油、調味料、梅酒など）のびん、化粧品のびん	・中身をカラにして、すすいでから直接「収集用コンテナ」へ
	缶・金属類	飲料・食品用の缶、スプレー缶、鍋、やかん、フライパンなど	・中身をカラにして、すすいでから直接「収集用コンテナ」へ ・スプレー缶は、穴を開けずに中身をカラにして直接収集用コンテナへ。ガスは、風通しが良く火の気のないところで抜く
	ペットボトル	飲料・食品用のペットボトル ※右の識別表示マークがついた無色透明のもの 	・キャップを外してラベルを剥がし、中をすすぎ、潰してから、直接収集用網袋へ。キャップとラベル、油分が取れない・汚れのひどいペットボトル、着色されたペットボトルは可燃ごみへ
	紙類	新聞紙、雑誌類、ダンボール、雑がみ 牛乳や各種飲料の紙パック	・品目ごとに分け、ひもで十字に縛る。箱状のものはたたむ。ひもで縛らず紙類をダンボールなどの箱に入れて出すことはできません ・中をすすぎ、平たく伸ばし乾かしてから、ひもで十字に縛る ・お酒の紙パックなど、内側が銀色のパックは可燃ごみへ
	布類	古着、着物、タオル、毛布、シーツなど	・たたんで、ひもで十字に縛る
可燃ごみ		台所の生ごみ類、資源物として出せない紙類・布類、プラスチック・ビニール・ゴム類、革製品、草木類など	・生ごみは水分を切る ・太さ7cm 以下で長さ50cm以下の木の枝や、袋に入れると破れてしまう長さ50cm以下の硬い茎系の植物は、指定ごみ袋に入れずにひもで直径30cm以下に束ねて出せます。枝木の葉は落とし、指定ごみ袋(可燃ごみ専用)に入れる。一回に5束程度まで
不燃ごみ・有害ごみ	【不燃ごみ】	小型電化製品、小型家庭雑貨、ガラス類・陶磁器類など	・刃物や割れたガラスなど危険なものは、新聞紙などで包み中身が分かるようマジックペンなどで「刃物」「割れ物」などと記入し、危険防止の処理をする ・ライター、びん（薬品など）は、中身をカラにする
	【有害ごみ】	蛍光管、水銀体温計、乾電池など	・蛍光管は指定ごみ袋からはみ出しても、袋の口を結んで出せます
粗大ごみ		こたつ、ベッド、布団、収納家具など	・20リットル用の指定ごみ袋の口が結べない、または袋からはみ出してしまうものは粗大ごみへ

広告

広告